

神話伝説の山里

たかちほごう

「高千穂郷」通信

252

令和6年9月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



高千穂町と日之影町をつなぐ「乙女大橋」完成！

10月2日（水）、県が整備を進めている森林基幹道 高千穂・日之影線のシンボリックな林道橋「乙女大橋」の完成を祝し、竣工祭が開催されました。

乙女大橋の工事は、平成30年度に着工し、令和4年9月の台風14号により資材搬入路が被災したため、工事が進まない状態となっていました。関係者の努力もあって、今年8月に工事を終わりました。

竣工祭に参加した地元住民や高千穂町役場、日之影町役場などの関係者は、この橋の完成によって木材の搬出などが容易になるだけでなく、地元住民の利便性向上や災害時の迂回路としても利用できるといった今後の期待を語りながら、工事の完了を祝しました。

地元の尾狩地区公民館長の飯干 徳男さんは、「乙女大橋の完成によって、台風などで生活道路が寸断される心配もなくなり、大変感謝している」と話していました。

西臼杵支庁では今後も、高千穂町、日之影町と協力しながら、高千穂・日之影線の早期完成に向けて取り組んでいきます。





9月26日（木）、^{はたけなか}「畑中小水力発電所」の竣工式が高千穂町岩戸で開催されました。

小水力発電とは、農業用水や河川を利用した発電で、ダムを利用した水力発電に比べて大規模な工事が不要であることや、再生可能エネルギーを利用するため環境への負荷が少ないこと、昼夜問わず年間を通して安定した発電が可能であるといったメリットがあります。

竣工式には、県や町、地元住民など約40名が参加し、岩戸神社の佐藤宮司が祝詞を奏上したあと、くす玉を割って完成を祝しました。

今回完成した畑中小水力発電所は、上寺用水路の上流に設置したヘッドタンクから水圧管に水を導き、70.5mの落差を利用してクロスフロー水車を回転させることで発電します。

発電に利用した水は再び用水路に戻されるので、営農への影響はありません。

発電される年間約42万kWhの電気は全て売電され、収入は町内の農業水利施設の整備などに充てられる予定で、将来的には、農家の皆さんの収入増につながる事が期待されています。

また、山腹用水路の可能性を^{そぼ かたむき おおくえ}アピールする機会ができることで、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域や祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのブランドイメージアップが期待されます。



用水路から発電施設に水を送るためのパイプ

小水力発電とは？

ダムなどの大規模な水力発電に比べて、用水路等の流水を使用する小規模な水力発電（日本では1,000kW以下）のことを「小水力発電」といいます。

傾斜地が多く用水路が張り巡らされている西臼杵は小水力発電に適しており、管内では5か所の発電所が稼働しています。



用水路を利用した小水力発電のイメージ

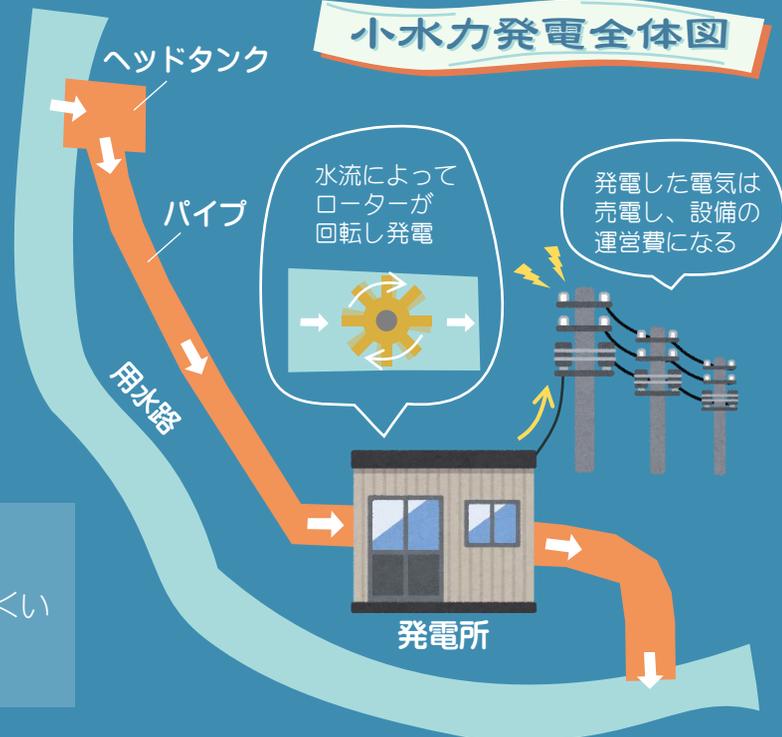
メリット

- ・ある程度の水量があればどこにでも設置できる
- ・太陽光発電や風力発電に比べて天候の影響を受けにくい
- ・環境に優しい

デメリット

- ・手続きが煩雑（水利権の取得が必要など）
- ・設置場所が落差と流量のある地点に限られる
- ・水路に流れる枝や落ち葉の掃除などの維持管理が必要

小水力発電全体図



発電に使用した水はすべて元の水路に戻る

宮崎県優良工事表彰

で

西臼杵管内の工事が知事賞受賞！



9月27日（金）、「令和6年度宮崎県優良工事表彰」の表彰式が県庁本館で行われ、高千穂峡遊歩道の災害復旧工事を施工したとみたかこうぎょう富高工業株式会社（高千穂町）が、最高位となる知事賞を受賞しました。

宮崎県優良工事表彰は、工事関係事業者の意欲向上と、公共事業に対する県民のイメージアップを図ることを目的に、県発注工事の施工業者を表彰するものです。

本県随一の観光地である高千穂峡は、令和4年9月の台風14号による豪雨によって五ヶ瀬川が増水し、遊歩道が土台ごと流さ

れてしまうという深刻な被害を受け、西臼杵支庁が工事を発注し災害復旧を進めてきました。

施工者である富高工業株式会社は、工事への興味・理解を深めることを目的とした地元小学生向けの見学会の開催や、国内外からの観光客に対応するため、日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語表記の工事看板を設置するなど、高千穂峡特有の事情を考慮した安全対策を実施し、きめ細やかな対応でトラブル無く工事を完成させました。

西臼杵管内では、知事賞のほか、県土整備部長賞1社、西臼杵支庁長賞3社が表彰されました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。



災害復旧工事が完了した高千穂峡遊歩道

知事賞

事業名称 令和4年度 自然公園等総合整備事業 九州自然歩道（高千穂峡コース）D工区
施工業者 とみたかこうぎょう 富高工業株式会社

県土整備部長賞

事業名称 令和4年度 4道路災 第656号県道宇納間日之影線外1路線 岩井川地区 道路災害復旧工事
施工業者 たけおぐみ 株式会社竹尾組

西臼杵支庁長賞

事業名称 令和5年度 中山間地域総合整備事業 兼ヶ瀬地区1工区
施工業者 まるすいこうぎょう 有限会社丸水工業

事業名称 令和4年度 4道路災 第657号県道北方高千穂線 七折地区 道路災害復旧工事
施工業者 きだけんせつ 木田建設株式会社

事業名称 令和5年度 4河川災 第666号 下野川 河川災害復旧工事
施工業者 なすけんせつ 株式会社奈須建設



県立五ヶ瀬中等教育学校

で公開授業が行われました！

9月17日（火）に、県立五ヶ瀬中等教育学校で公開授業が行われました。

同校では、令和4年度から「VUCA時代（予測困難な時代）を生き抜く野性味あふれる価値創造人材の育成」を目指し、文部科学省指定事業「新時代に対応した高等学校改革推進事業（創造的教育方法実践プログラム）」指定校に選定され、教科横断型カリキュラムの開発に取り組んでいます。

今回の公開授業は、「『問う力』を育成する文理融合・教科横断型授業」と銘打ち、中高一貫6学年それぞれで1コマずつ行われました。

そのうち、5年生の授業では、数学・芸術・日本史の3教科の教師が教壇に立ち、「建築に表現される美について」というテーマで、法隆寺金堂や五重塔を例に、黄金比や白銀比といった建築として美しいとされているものを数学的に表現した場合に美しいとすることができるかなど、日本人が直感的に感じる「美」について、それぞれの教科の観点から解説しました。

公開授業には県内各地の高校等から集まった先生が各学年の教室を回り、生徒たちが生き生きと学ぶ様子を観察していました。



5年生の授業の様子

西臼杵支庁林務課による



森林学習会



実施中！



西臼杵支庁では、将来の林業の担い手増加につなげることを目的に、西臼杵の子供たちに森林や樹木に関心を持ってもらうための森林環境教育を行っています。

9月3日（火）、高千穂町の上野小学校で、森林のはたらきや身近な樹木の名前・特徴などを学ぶ授業を行いました。

この授業では、西臼杵支庁林務課の上杉副主幹が先生となり、小学3年生11名と小学4年生7名が参加しました。

参加した子供たちは、森林が持つ様々な機能について説明を受けた後、グラウンドに出て、樹木の高さ計測の体験と、校庭に生えている樹木の名前や特徴などについて、説明を受けました。

子供たちは、普段身近にある樹でも知らないことだらけで、「ちぎった葉っぱは再生しますか？」「竹は樹木ですか？」と質問するなど興味津々の様子でした。



西臼杵支庁林務課
上杉 基 副主幹



支庁職員が学校等を訪れ

森林学習会

を行います！

支庁職員による森林に関する授業のご要望がありましたら、下記連絡先までご連絡ください。「樹木の名前を説明してほしい」「しいたけについての授業をしてほしい」などのご要望に応じて内容を検討させていただきますので、お気軽にご相談ください。たくさんのご連絡お待ちしております！

連絡先

西臼杵支庁林務課

0982-72-3178



Facebook

Instagram



西臼杵支庁 SNS

更新中！

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里

「高千穂郷」通信





9月26日（木）、高千穂町岩戸で、「畑中（はたけなか）小水力発電所」の竣工式が開催されました。

小水力発電とは、農業用水や河川を利用した発電で、ダムを利用した水力発電に比べて大規模な工事が不要であることや、再生可能エネルギーを利用するため環境への負荷が少ないこと、昼夜問わず年間を通して安定した発電が可能であるといったメリットがあります。

竣工式には、県や町、地元住民など約40名が参加し、岩戸神社の佐藤宮司が祝詞を奏上したあと、くす玉を割って完成を祝しました。

今回完成した畑中小水力発電所は、上寺用水路の上流に設置したヘッドタンクから水圧管に水を導き、70.5mの落差を利用してクロスフロー水車を回転させることで発電します。

発電される年間約42万kWhの電気は全て売電され、収入は町内の農業水利施設の整備などに充てられる予定であり、将来的には、農家の皆さんの収入増につながることを期待されています。また、発電に利用した水は再び用水路に戻されるので、営農への影響はありません。

山腹用水路を活用した畑中小水力発電所の稼働により、世界農業遺産及びユネスコエコパークとしてのブランドイメージが高まるほか、発電所が所在する土呂久地区のイメージアップが期待されます。



小水力発電とは？

ダムなどの大規模な水力発電に比べて、用水路等の流水を使用する小規模な水力発電（日本では1,000kW以下）のことを「小水力発電」といいます。

傾斜地が多く散布用水路が張り巡らされている西臼杵は小水力発電に適しており、管内では〇ヶ所の発電所が稼働しています。

メリット

- ある程度の水量があればどこにでも設置できる
- 太陽光発電や風力発電に比べて天候の影響を受けにくい
- 環境に優しい

デメリット

- 水利権の取得が必要など、手続きが煩雑
- 初期費用の回収に20年程度かかる
- 水路に流れる枝や落ち葉の掃除などの維持管理が必要

小水力発電のしくみ





知事との本音トーク ～しゅんじと旬な時間～



Facebook
Instagram



西臼杵支庁 SNS
更新中！



放牧に取り組む岩田さんの農場で
行われた現地視察と意見交換



五ヶ瀬ワイナリー 緑 & 月華



銀 緑

銅 月華



ぶどうの育成状況を確認する
西臼杵農業改良普及センター
富樫 瑞穂 技師

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信





9月26日（木）、高千穂町岩戸で、「畑中（はたけなか）小水力発電所」の竣工式が開催されました。小水力発電とは、農業用水や河川を利用した発電で、ダムを利用した水力発電に比べて大規模な工事が不要であることや、再生可能エネルギーを利用するため環境への負荷が少ないこと、昼夜問わず年間を通して安定した発電が可能であるといったメリットがあります。竣工式には、県や町、地元住民など約40名が参加し、岩戸神社の佐藤宮司が祝詞を奏上したあと、くす玉を割って完成を祝しました。今回完成した畑中小水力発電所は、上寺用水路の上流に設置したヘッドタンクから水圧管に水を導き、70.5mの落差を利用してクロスフロー水車を回転させることで発電します。発電に利用した水は再び用水路に戻るため営農に影響はなく、発電される年間約42万kWhの電力は全て売電され、収入は町内の農業水利施設の整備などに充てられる予定です。

小水力発電とは？

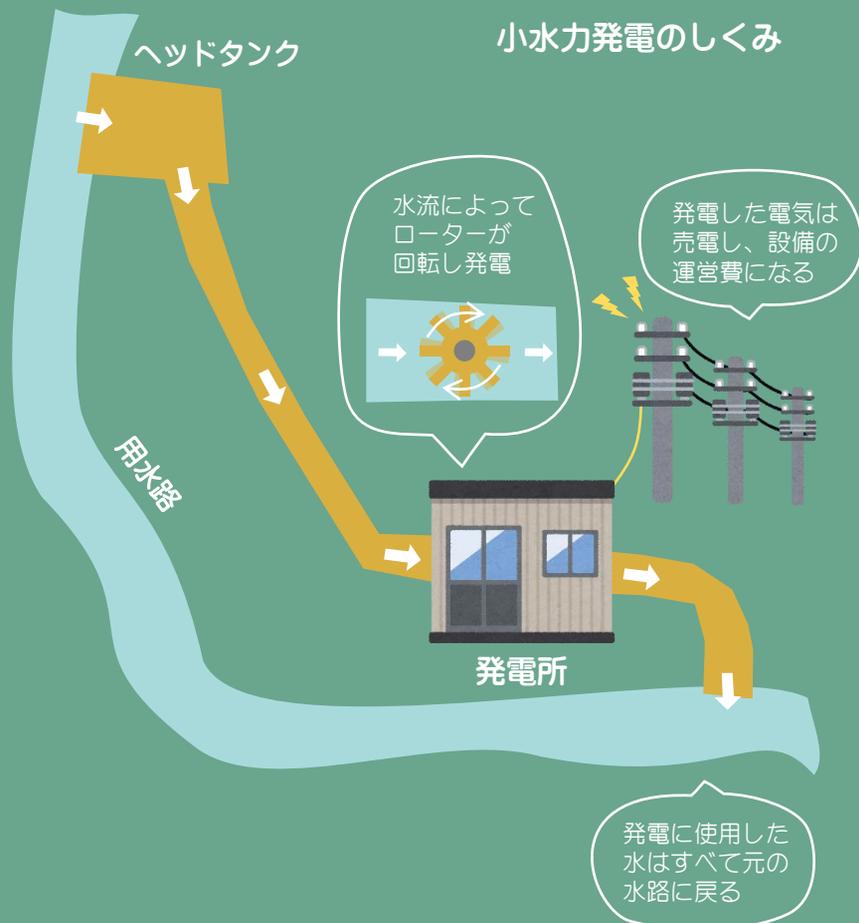
ダムなどの大規模な水力発電に比べて、用水路等の流水を使用する小規模な水力発電（日本では1,000kW以下）のことを「小水力発電」といいます。

メリット

- ・ある程度の水量があればどこにでも設置できる
- ・太陽光発電や風力発電に比べて天候の影響を受けにくい
- ・環境に優しい

デメリット

- ・水利権の取得が必要など、手続きが煩雑
- ・初期費用の回収に20年程度かかる
- ・水路に流れる枝や落ち葉の掃除などの維持管理が必要



日之影町で

知事との本音トーク ～しゅんじと旬な時間～

が開催されました！



9月9日（月）、日之影町役場の町民ホールで、河野知事が地域住民の方々とざっくばらんに意見交換をする「知事との本音トーク～しゅんじと旬な時間～」が開催されました。

これは、県民の皆さまと対話を重ねることにより、「対話と協働」による県政運営に取り組むことを目的として開催されているもので、日之影町では5年ぶりの実施となりました。

当日は、地元の方々10名が参加し、河野知事が本県の課題や強みなどを説明したあと、「日之影町の将来像と直面する課題」をテーマに意見交換が行われました。



放牧に取り組む岩田さんの農場

参加者からは、同町の強みである手厚い子育て支援についてもっと発信していく必要があることや、介護士や保育士などの給与が低く処遇改善が必要であること、農林業で人手が不足していることなどの意見が挙がり、知事は「御意見を伺う中で、日之影町の魅力や課題を深く理解するとともに、いろいろな気付きを得ることができた。これからも皆さまの思いを届けていただきながら、宮崎県の元気につながるような取組を進めていく」と話していました。

また、知事との本音トーク終了後には、同町岩井川で放牧に取り組む岩田 篤徳さんの牧場を視察しました。

放棄された山林等を開拓、16年をかけて約10haの放牧地に転換し、省力・低コストの放牧技術を確立されていることなどについて歩きながら説明を受けた後、日之影町の佐藤 貢 町長や県議会議員の佐藤議員も交えて意見交換を行いました。

「知事との本音トーク」は、日之影町のほか、日向市、美郷町、木城町など県内各地で開催されており、今年度は全〇回の実施を予定しています。

日本ワインコンクール2024で

五ヶ瀬ワイナリー 緑 & 月華 が入賞！

国内最大規模のワインの審査会である「日本ワインコンクール2024」で五ヶ瀬ワイナリーの2銘柄が入賞し、8月30日（金）に表彰式が山梨県庁で行われました。

このコンクールは、山梨県や関係団体でつくる実行委員会が開催しているもので、今回のコンクールでは五ヶ瀬ワイナリーの「緑」（北米等品種・白部門）が銀賞、「月華」（スパークリングワイン部門）が銅賞を受賞しました。

五ヶ瀬ワイナリーで使用されるぶどうは全て五ヶ瀬町産です。標高600mに位置する五ヶ瀬町では、激しい寒暖の差と美しい水によって、糖度と酸味のバランスが絶妙なぶどうが育まれています。

西臼杵農業改良普及センターでは、今後もこの地域で高品質なぶどうが安定して生産できるように、育成状況の確認や指導などを継続して行っていきます。



ぶどうの育成状況を確認する
西臼杵農業改良普及センター
富樫 瑞穂 技師



西臼杵支庁 SNS
更新中！

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信





9月26日（木）、^{はたけなか}「畑中小水力発電所」の竣工式が高千穂町岩戸で開催されました。

小水力発電とは、農業用水や河川を利用した発電で、ダムを利用した水力発電に比べて大規模な工事が不要であることや、再生可能エネルギーを利用するため環境への負荷が少ないこと、昼夜問わず年間を通して安定した発電が可能であるといったメリットがあります。

竣工式には、県や町、地元住民など約40名が参加し、岩戸神社の佐藤宮司が祝詞を奏上したあと、くす玉を割って完成を祝しました。

今回完成した畑中小水力発電所は、上寺用水路の上流に設置したヘッドタンクから水圧管に水を導き、70.5mの落差を利用してクロスフロー水車を回転させることで発電します。

発電に利用した水は再び用水路に戻されるので、営農への影響はありません。

発電される年間約42万kWhの電気は全て売電され、収入は町内の農業水利施設の整備などに充てられる予定で、将来的には、農家の皆さんの収入増につながる事が期待されています。

また、山腹用水路の可能性を^{そぼ かたむき おおくえ}アピールする機会ができることで、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域や祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのブランドイメージアップが期待されます。



用水路から発電施設に水を送るためのパイプ

小水力発電とは？

ダムなどの大規模な水力発電に比べて、用水路等の流水を使用する小規模な水力発電（日本では1,000kW以下）のことを「小水力発電」といいます。

傾斜地が多く用水路が張り巡らされている西臼杵は小水力発電に適しており、管内では5か所の発電所が稼働しています。



用水路を利用した小水力発電のイメージ

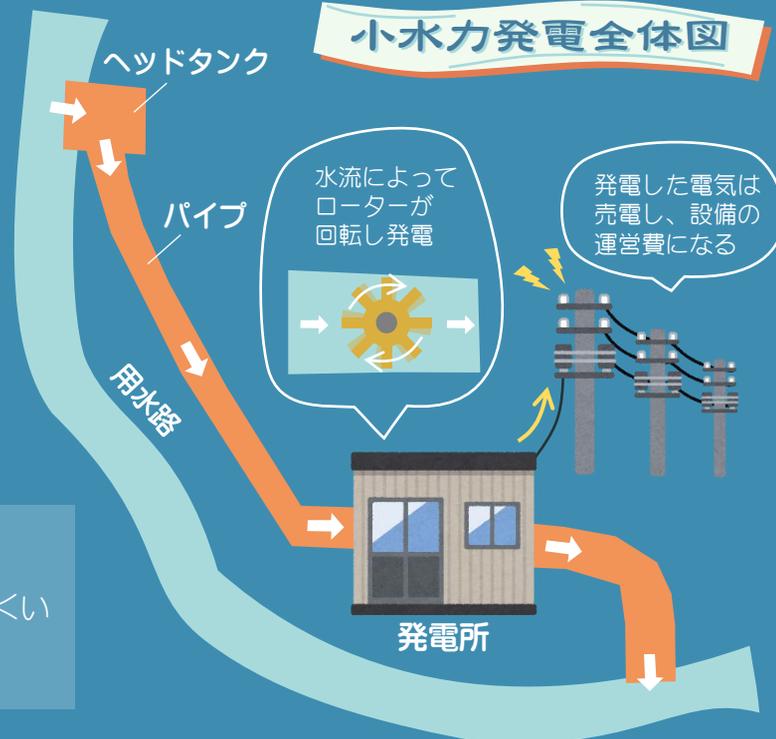
メリット

- ・ある程度の水量があればどこにでも設置できる
- ・太陽光発電や風力発電に比べて天候の影響を受けにくい
- ・環境に優しい

デメリット

- ・手続きが煩雑（水利権の取得が必要など）
- ・設置場所が落差と流量のある地点に限られる
- ・水路に流れる枝や落ち葉の掃除などの維持管理が必要

小水力発電全体図



発電に使用した水はすべて元の水路に戻る

宮崎県と大分県にまたがる祖母・傾・大崩山系は、急しゅんな岩峰や溪谷などが形作る独特な景観の中に、多くの希少動植物が息づいており、平成29年に「祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク」として登録されました。

古くからこの地域に住む人々は、この豊かな自然を敬い、自然の恵みを大切に守りながら暮らしてきました。これからも、自然と人間とが共生しながら発展していくために、県、市、町で作る祖母・傾・大崩山ユネスコエコパーク推進協議会では、登録地域の自然環境調査や、小中学生対象の体験活動を通じた知名度向上などに取り組んでいます。



傾山の岩峰

祖母山の
アケボノツツジ



Facebook
Instagram



西臼杵支庁 SNS
更新中！

第7回 夏山フェスタ in 福岡

6月22日（土）・23日（日）の2日間、「第7回夏山フェスタin福岡」が福岡市の電気ビルみらいホールで開催され、全国から集まった多くの登山好きでにぎわいました。

西臼杵支庁も参加した「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」ブースにもたくさんの方々にお越しいただき、初心者でも登りやすい祖母山や傾山から、九州最難関とも言われる大崩山まで、祖母・傾・大崩山系の山々の魅力を、大いにPRできました。



日本ユネスコエコパークネットワーク 総会・視察

7月17日（水）に、日本各地のユネスコエコパーク登録地域でつくる「日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）」の総会が延岡市のエンシティホテル延岡で開催され、翌18日（木）には、高千穂神社と子ども神楽、高千穂峡の視察が行われました。

総会には、登録地域の関係者など約50人が参加し、JBRNの杉浦 嘉雄 会長が「全国10か所のエコパーク登録地域が一堂に会し、情報共有や交流することで、さまざまな課題を互いの経験と知恵で乗り越え、共通理念である人間と生物圏とのよりよい関係の実現を具体的に一つ一つ積み重ねていくことができる」と挨拶した後、事業計画の確認や意見交換を行いました。



発行/宮崎県 西臼杵支庁 編集/総務課
 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



西臼杵支庁 Instagram はじめました！

西臼杵支庁では、フェイスブックに加えてインスタグラムのアカウントを新たに開設しました。今後は、2種類のSNSアカウントで西臼杵支庁の業務や西臼杵管内のイベントなどの地域情報を発信していきます。

フォローをよろしくお願いいたします！



@NISHIUSUKI_SOMU

神話伝説の山里
「高千穂郷」通信





～これからの西臼杵の観光に向けて～

西臼杵観光推進連絡協議会

を開催しました

高千穂峡もようやく遊歩道が全面復旧し、五ヶ瀬ハイランドスキー場も、再オープンに向け施設の改修や町道の復旧などが進められています。日之影町の森林セラピーも、収穫体験やヨガ、アロマなどと組み合わせる新たな魅力を創出しています。

コロナ後、観光客の回復も実感でき、九州中央自動車道が山都通潤橋ICまで伸びてくるなど、西臼杵の観光には追い風が吹いています。しかし、宿泊客割合が約1割にとどまり、人手不足も重なるなど課題は少なくありません。

西臼杵支庁では、3町や県、関係団体で観光を取り巻く課題を共有し、これからの観光振興につなげていくため、3月11日（月）に「西臼杵観光推進連絡協議会」を開催しました。

まず、協議会会長である一般社団法人高千穂町観光協会の竹尾通洋会長が、「九州中央自動車道の整備が進んでいるが通過型の観光になってはいけない。3町が一つになって邁進しましょう」と挨拶。その後、「人材を確保しようにも適当な居住場所がない」、「観光スポットはあるがお金を落としてもらう仕組みづくりが難しい」などそれぞれの課題を共有し、県観光推進課と公益財団法人宮崎県観光協会からは、令和6年度の県観光施策について説明がありました。

西臼杵支庁では、今後も、関係機関・団体が連携しやすい環境づくりに努めていきます。



再開が待ち遠しい
五ヶ瀬ハイランドスキー場



森林セラピーロードでの
ヨガの様子

協定を締結しアダプト活動を行う団体に、西臼杵支庁長が

「高千穂郷日本一の道づくり活動」認定証

を交付します！

「アダプト活動」とは、県土木事務所長や西臼杵支庁長と協定を結んでいただき、3年以上継続して、県管理道路の植栽帯等の清掃、草花の植栽、除草など道路環境美化に取り組んでいただく活動で、自治会、道路愛護団体、商工会、道路改良期成会等の団体が対象となります。

支庁等は、活動団体の要請に応じて、木製プランターや植栽用の種苗の提供を行うほか、活動団体の名称等を記載した看板も設置します。

西臼杵支庁では、観光振興にもつながるこのアダプト活動を地域で積極的に実施していただきたく、アダプト活動を西臼杵支庁長が「高千穂郷日本一の道づくり活動」として認定し、認定証を交付するとともに、看板に認定した旨を表記することとしました。

たくさんの申込をお持ちしています。



詳しくは…

西臼杵支庁土木課

0982-72-3191

西臼杵に春が来た！

春の陽気に誘われて
花開く季節になりました。
地元に住む方も、
西臼杵の春を探しに行きませんか？

中川チューリップの里
(日之影町)

天神山つつじ公園
(日之影町)

浄徳寺のしだれ桜
(五ヶ瀬町)

ふたがみやま
二上山の
アケボノツツジ
(高千穂町)



米づくりの負担軽減につながる技術

西臼杵^{すいとうじか}水稲^{まき}直播^{まき}研修会

が開催されま



実証ほ場の視察

8月23日（金）、県、町、JA、NOSAIで構成する高千穂地区営農振興協議会の主催により、水稲の管理負担の軽減を目的とする西臼杵地区水稲直播研修会が、西臼杵農業改良普及センターで行われました。

「水稲直播」は、水田に直接種子をまく農法で、手間のかかる育苗や田植え作業が不要というメリットがあるものの、発芽率の低さや除草対策が必要といった技術的な課題があり、西臼杵地域では、これまで普及が進んでいませんでしたが、現在、普及センターでは、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の元職員で、

直播技術の開発者でもある山内 稔さんの協力を得て実証を進めています。

今回の研修は、新技術である「新鉄コーティング技術」の導入や「水管理技術」の改善によって、従来の苗箱での育苗（田植え）と遜色ない生育結果が得られたことから、改めて水稲直播技術を普及させるために開催したものです。

当日は、管内の生産者、関係機関の職員など65名が参加し、普及センターや山内さん、実証農家などから技術ポイントや有用性の説明があったあと、実証ほ場を視察しました。

普及センターの高嶋 和彦主幹は、「直播技術は以前からあるものの、ちょっとしたノウハウが足りなかったことが原因で普及しなかった。今回、山内さんの協力も得たことで、技術員も自信を持って生産者に勧めることができる。特に飼料稲（ミナミユタカ）の直播は、実用レベルに達している」と話していました。



注意点を説明する 普及センター 尾西 優 技師

すいとうじかまき

水稲直播とは？

従来の、別の場所で育てた苗を水田に植える方法（移植栽培）に対し、水田に直接種子を播く方法を「水稲直播」といいます。

苗を育てる育苗と田植作業を省略できるため、大幅に負担が減ることに加え、低コスト化にもつながるというメリットがあります。

？ 鉄コーティング種子

直取栽培に使用する、鉄粉をコーティングした種もみのことです。

これにより、種子が重くなり、水を張った田んぼに播いても浮かず、スズメ等からの食害も軽減されるというメリットがあります。

移植栽培（従来の方法）



水稲直播



※コーティングには鉄以外が使われることもあります

令和6年度宮崎県地域づくり顕彰で

五ヶ瀬町の^{あら おどり}荒踊保存会が**大賞**受賞！

令和6年度宮崎県地域づくり顕彰において、五ヶ瀬町の「^{あら おどり}荒踊保存会」が、最高位となる大賞を受賞しました。

この顕彰は、地域振興に関して特に功績のあった個人や団体を顕彰するもので、5月9日（木）に県庁講堂で行われた授賞式には、荒踊保存会の長田 豊明会長が出席し、河野知事から表彰状を受け取りました。

五ヶ瀬の荒踊は、同町の坂本地区に伝わる郷土芸能であり、令和4年11月には、全国で41件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「^{ふりゅうおどり}風流踊」の一つとして、「五ヶ瀬の荒踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

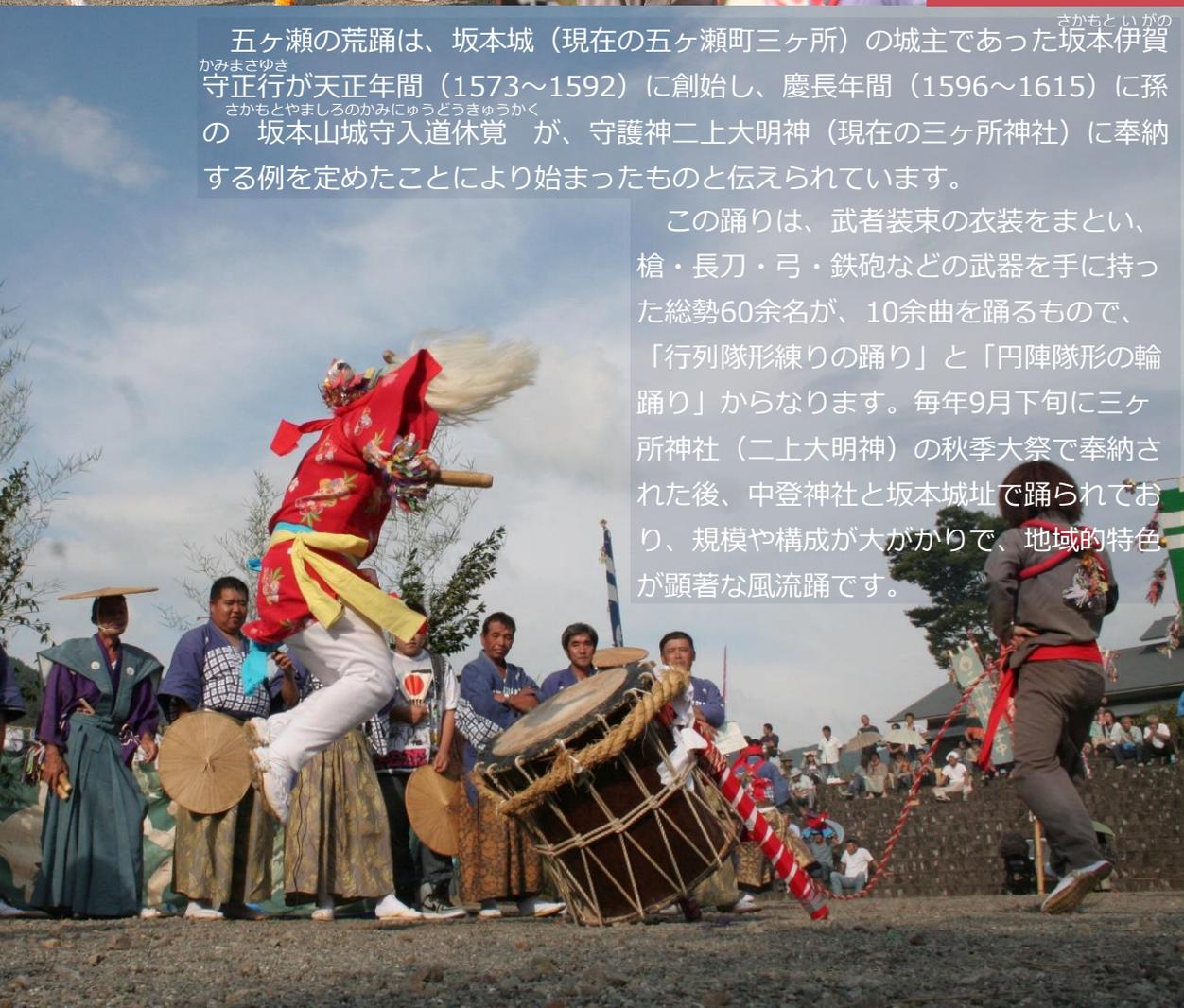
荒踊保存会は、その伝統を守り受け継いでいくため、地元小学校の授業の一環として「荒踊継承教室」を行い、運動会の場で披露するなど、地域が一体となって後継者育成や継承活動に取り組んでいます。



あら おどり
荒踊
とは？

五ヶ瀬の荒踊は、坂本城（現在の五ヶ瀬町三ヶ所）の城主であった坂本伊賀^{さかもといがの}守正行が天正年間（1573～1592）に創始し、慶長年間（1596～1615）に孫の^{かみまさゆき}坂本山城守入道休覚^{さかもとやましろのかみにゅうどうきゅうかく}が、守護神二上大明神（現在の三ヶ所神社）に奉納する例を定めたことにより始まったものと伝えられています。

この踊りは、武者装束の衣装をまとい、槍・長刀・弓・鉄砲などの武器を手に持った総勢60余名が、10余曲を踊るもので、「行列隊形練りの踊り」と「円陣隊形の輪踊り」からなります。毎年9月下旬に三ヶ所神社（二上大明神）の秋季大祭で奉納された後、中登神社と坂本城址で踊られており、規模や構成が大がかりで、地域的特色が顕著な風流踊です。



五ヶ瀬町が団体優勝！

第69回宮崎県乾しいたけ品評会表彰式



五ヶ瀬町椎茸振興会
甲斐 和幸 会長

乾しいたけの種類

こうしん
香信



傘が開いており
厚みがない

こう
香菇



傘の開きが香信
と冬菇の間

どん
冬菇



傘が開いておら
ず肉厚



6月26日（水）に、第69回宮崎県乾しいたけ品評会表彰式がシーガイアコンベンションセンターで開催され、4月に行われた乾しいたけ品評会で団体優勝した五ヶ瀬町が、優勝旗やトロフィーを授与されました。

また、個人賞では、甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）が3部門、甲斐 由香さん（五ヶ瀬町）が1部門、甲斐 博典さん（五ヶ瀬町）が1部門で、それぞれ最高位となる「優等」を獲得するなど、五ヶ瀬町で生産された乾しいたけの質の高さが証明される結果となりました。

五ヶ瀬町椎茸振興会会長の甲斐 和幸さんは、「しいたけ生産としては天候に恵まれない年であったが、過去に例のない多数の賞を受賞することができた」と大変喜ばれていました。

今年の品評会では、冬季の高温や春先の雨の影響による県全体のしいたけ生産量の落ち込みにより、出品数が昨年より大きく減少しましたが、西臼杵からは、生産者の方々の努力によって、大きさや形状、色合いなどが優れた、例年に劣らない高品質の乾しいたけが多数出品されました。

西臼杵支庁では、今後とも、質の良いしいたけの生産を維持・向上させていくために、しいたけ生産基盤となる機械やほだ場の導入の補助などを積極的に進めていきます。

特別表彰

農林水産大臣賞

箱物（冬 菇） 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）
甲斐 由香さん（五ヶ瀬町）

林野庁長官賞

袋物（天白冬菇） 甲斐 博典さん（五ヶ瀬町）
箱物（香 菇） 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）

しいたけ等特用林産振興議員連盟会長賞

袋物（香 菇） 甲斐 由香さん（五ヶ瀬町）

団体賞

優勝 五ヶ瀬町

個人賞（優等のみ抜粋）

袋物の部

香 菇 優等 甲斐 由香さん（五ヶ瀬町）
冬 菇 優等 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）
天白冬菇 優等 甲斐 博典さん（五ヶ瀬町）

箱物の部

香 菇 優等 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）
冬 菇 優等 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）

特別賞

宮崎県経済農業協同組合連合会会長賞

最高平均単価賞 成松 達也さん（五ヶ瀬町）
甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）
最多出荷賞 甲斐 和幸さん（五ヶ瀬町）